

キャラクター名  
茨木 焰

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校1年生
	サラマンダー				
オプション		年齢	15歳	性別	男
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	結社の一員	経験	英雄復帰	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11	5	射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
伝説の木刀	白兵	4r+19	5	7		
伝説の木刀	白兵	4r+19	21	23		白兵の技能値分攻撃力とG値を上げる

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コンバットフォーカス	
オーヴァードシールド	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
精鋭: 白兵	P	N		
RE:前世記憶	P	N		
都築京香	P 友情	N 悔悟		
和田薫	P 好意	N 不安		
早乙女 沙織	P 同情	N 猜疑心		
□ベリ	P 庇護	N 悔悟		
白蛇	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	3							
効果:								
結合粉碎	5							
効果:								
炎の刃	7							
効果:								
アマテラス	5							
効果:								
氷盾	5							
効果:								
歪みの体	7	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	ガード値+[Lv+3]。体が柔らかい							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【経歴】  
 母親は焰を生んで死亡。父親は殺し屋。殺し屋である父と同じ道を行ってほしくないと考えた父は孤児院に焰を預けるが、そこはUGNチルドレンの養成施設だった。その施設で厳しい訓練を受け、父の願いは裏腹に精鋭と呼ばれるまでの戦士に育った。  
 後に、湾岸地区に潜入工作員として送り込まれた焰はゲリラ戦でFHとの交戦時、先代の伝説の木刀所持者と対峙する。焰をはじめとする精鋭部隊で先代に挑むも、部隊は壊滅させられてしまう。命から逃げることに成功した焰だったが、傷は深く路地裏で気絶する。目が覚めるとそこは見知らぬ天井。「目が覚めましたか？ハナ」そう声をかけてきたのは都築京香と名乗る少女。彼女を見た瞬間自身に存在しないはずの記憶がよみがえってきた。  
 前世は女性。政略結婚や女だからこうするといった風習を嫌い家出。エグザイルのオーヴァードであったことや、周囲とは異端な行動をする前世の自分に興味を持った都築京香と共に過ごした天寿全うし、死亡する。そんな前世の記憶がよみがえった。都築京香は微笑みながら「お帰りなさい。ハナ。いえ、今は焰と呼ぶ方が適切ですね」というのであった。そしてその後、都築京香と同じところで暮らしている。  
 前世の記憶を取り戻した焰は単騎で先代の伝説の木刀所持者に挑んだ。数多の骨を砕かれても、何度も鮮血にまみれようとも、そして意識がほとんど薄れてしまっても、目の前の勝利のために挑み続けた結果、焰は勝利する。負けを認めた先代は伝説の木刀を焰に渡し、「よくやったじゃねえか」といって笑いながら意識を失う。その先代姿は焰の中の価値観を大きく変えることとなった（その後、半年ほど入院することとなった）。  
 喧嘩は基本自分からは仕掛けないが、挑まれたら笑顔で挑戦を受ける  
 喧嘩の代わりにストリートバスケットの1on1を好む